

令和4年度北海道中学校体育大会 第52回 北海道中学校卓球大会開催要項

1. 主催 北海道中学校体育連盟・北海道教育委員会・旭川市教育委員会・北海道卓球連盟
2. 主管 旭川市中学校体育連盟・旭川卓球協会
3. 後援 北海道・旭川市・北海道都市教育委員会連絡協議会・北海道町村教育委員会連合会
北海道中学校長会・旭川市中学校長会・(公財)北海道スポーツ協会・(公財)旭川市スポーツ協会
北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会・北海道新聞社
4. 会期 令和4年8月2日(火)・3日(水)・4日(木)
5. 会場 旭川市リアルター夢りんご体育館
(〒070-0901 北海道旭川市花咲町5丁目 TEL:0166-54-5411)
開始式 8月2日(火) 13:00より 旭川市リアルター夢りんご体育館(アリーナ)
競技 8月3日(水) 13:20より 旭川市リアルター夢りんご体育館(アリーナ)
表彰 順位が確定次第行う
6. 競技種目 男女団体戦・男女個人戦
7. 日程

	8:40	9:30	10:00		12:00	12:30	13:00	13:20		15:00	15:40	16:30	17:00
前日準備 1日(月)													
第1日目 2日(火)	公開練習 受付(12:30まで) 専門委員会					開始式	団体戦 第1ステージ(3試合)						
第2日目 3日(水)	公開 抽選	団体戦第2ステージ (2試合)				個人戦シングルス(3回戦まで)							
第3日目 4日(木)	団体戦代表決定リーグ (3試合)					表彰	個人戦シングルス (決勝まで)		表彰	全国大会出場 監督会議			

8. 大会開催区分 北海道を札幌市及び14管内に分けて行う。
9. 参加資格
 - (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、北海道中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
 - (2) 年齢は、平成19年4月2日以降に生れた者に限る。
 - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和4年6月30日までに、北海道中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4) 北海道中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げられるもの以外)の参加を認める。但し、詳細については北海道中学校体育大会開催基準による。
 - (5) 参加生徒の引率者及び監督・コーチは当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。
 - (6) 監督・コーチ・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。外部指導者(アドバイザー)は校長から暴力等による指導措置が無いこと。
 - (7) 外部指導者(アドバイザー)は、校長が認めた20歳以上の者で北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
 - (8) チームは、単一学校の生徒で編成されたものであること。
 - (9) 団体戦のベンチには監督・コーチと外部指導者(アドバイザー)のうち2名まで入ることができる。ただし、外部指導者(アドバイザー)は単独でベンチに入ることができない。個人戦については当該学校の校長・教員・部活動指導員または生徒、外部指導者(アドバイザー)のうち1名とする。団体戦・個人戦でベンチに入る場合は、ユニフォーム「上」を着用すること。
 - (10) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
10. 参加チーム数

団体戦	男女各札幌市(2)管内代表各1(14)開催地(1)開催管内(1)、計18チームとする。但し、参加チーム数が18チームに満たない場合は、開催地の状況に応じて開催地より2チームまで参加することができる。
個人戦	男女各札幌市(8)管内代表各8(112)開催地(8)とし、計128名とする。他に、女子は松元菜音(留萌港南)がスーパーシードで出場する。

11. 登録人数 (1) 団体戦は、監督1名、コーチ1名、外部指導者（アドバイザー）1名、選手8名以内の合計11名以内とする。
(2) 個人戦は、選手1名につき監督1名、コーチ1名、外部指導者（アドバイザー）1名までとする。
12. 大会規則 (1) 現行の(公財)日本卓球協会が制定した日本卓球ルールによる。
(2) タイムアウト制は、団体戦は代表決定リーグ、個人戦は4回戦以降（ブロック代表決定）採用する。
(3) 大会試合球は、VICTAS、ニッタク、ヤサカ、タマスの4社製品のプラスチック製とする。
13. 競技方法 (団体戦)
① 4単1複の5試合を6人制で行う。（ダブルスは3番に実施し、シングルス、ダブルスともに重複して出場することはできない。）
② 第1ステージ（リーグ）・第2ステージ（トーナメント）方式で行う。
第1ステージは1ブロック3チーム、計6ブロックを編成し、各ブロックより上位2チームの代表で第2ステージ（トーナメント）を行う。代表決定はベスト4によるリーグ戦を行い、3チームを決定する。
③ 第1ステージは、5試合すべてを行いその得点で勝敗を決定する。第2ステージおよび代表決定リーグは3点先取法で行う。
(個人戦)
① 男女ともシングルスのみとし、トーナメント方式で行う。
14. 組合せ抽選 令和4年7月15日（金）14時より開催地（旭川市立東陽中学校）において主催者、開催地、専門委員長立ち会いのもと公開で抽選を行う。
15. 参加料 団体戦1チームにつき 20,000円 個人戦1名につき 2,500円
16. 表彰 団体戦 ①入賞は3位（2チーム）までの4チームとする。
②1位には優勝旗、優勝杯を授与する。（持ち回り）
③3位までの入賞者全員にメダルを授与する。
個人戦 ①入賞は3位までとする。
②3位までの入賞者全員にメダルを授与する。
※表彰式には、入賞チーム・入賞者及び個人戦全国出場者は必ず参加すること。
17. 大会参加申し込み (1) 各チーム・選手は、地区中体連を通して、正規の申込書に参加料を添えて申し込むこと。
(2) 申し込み締め切り 令和4年7月11日（月）必着とする。
(3) 申し込み先
- 〒078-8232 旭川市豊岡2条7丁目
旭川市立東陽中学校内 藤原 聡 宛
TEL 0166-34-3047 FAX 0166-34-3028
【振込先】
金融機関：旭川信用金庫 店舗名：東光東支店（店舗番号：032）
口座番号：0354266
口座名：北海道中学校卓球大会実行委員長 片原俊光（カタハラトシミツ）
18. 宿泊 指定宿泊とする。開催地の指定した宿泊地に日本旅行旭川支店を通して必ず宿泊すること。
19. 練習日程 旭川市リアルター夢りんご体育館（期日、時間については未定）
20. 全国大会への参加 個人戦女子は、松元菜音（留萌港南）が日本卓球協会の推薦選手として出場する。
(1) 団体戦の代表は男女とも上位4チーム、個人戦は男女とも上位10名まで出場することができる。全国大会へ参加する際、宿泊について宿泊要項において実行委員会より斡旋されている場合は、斡旋された宿泊を必ず利用すること。
※本大会団体戦の上位4チームを除く、苫小牧市の最上位のチームは団体戦で、個人戦の上位10名を除く、苫小牧市の上位2名は個人戦で、全国大会に出場することができる。
※全国大会出場の手続きは大会終了後直ちに行うので、あらかじめ参加、不参加の意思を決めておくこと。
(2) 会期 令和4年8月19日（金）～22日（月） 開催地 北海道苫小牧市
21. 監督会議 (1) 大会前の監督会議は実施しない
※事前連絡事項等をよく確認して、質問事項は8月2日12:10～12:40の間に、大会本部へ確認すること。
(2) 令和4年8月4日（木）個人戦の表彰終了後に全国大会参加のための打ち合わせを行う。

22. 個人情報の取扱
- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年は、大会運営のために必要なプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
 - (2) 選手の大会成績は、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
 - (3) 選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
 - (4) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
 - (5) 引率者又は監督の連絡先は、大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。

23. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について

※今年度の全道大会は、感染拡大予防のため、無観客で実施する。

館内に入場できるのは、参加登録された選手・監督・コーチ・アドバイザーのみとする。

- (1) 参加者は、(公財)日本中学校体育連盟の全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン並びにスポーツ庁、(公財)日本卓球協会等が作成している新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関するガイドラインを遵守し、大会に参加すること。
- (2) 大会実行委員会としても可能な限り感染防止対策を徹底した上で大会準備や大会運営に努めるが、参加者も大会期間中は各種ガイドラインに基づき、感染予防に努めること。
- (3) 参加者は、大会申込み時に本連盟作成の参加同意書を必ず提出すること。
- (4) 参加者は、大会前の感染予防や緊急時の体制づくりの観点から、大会前後2週間の体調と行動履歴の記録を所定の用紙に毎日記入すること。
- (5) チームや選手の出場停止等、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために主催者が決めた措置については、主催者の指示に従い、遵守すること。
- (6) 今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国や北海道などから大会開催についての指導・助言があった場合や、開催自治体などが当該地域において大会を開催することが難しいと判断した場合は、主催団体において大会の開催について改めて協議する。

24. その他

- (1) 組み合わせは、専門委員会の内規によって主管団体が行う。
- (2) 参加選手は、右記要領のゼッケンを使用すること。
(日本卓球協会交付のものが望ましい。)

- (3) 選手の競技用服装は、メーカー及び所属学校以外の商標がないものとする。

※団体戦の出場者は、上下同一の競技用服装を着用するものとする。

